2022年度事業計画　（案）

〔活動方針〕

　新型コロナウイルスの感染防止対策を前提とし、利用者へ継続的なサービスの提供が行えるよう、変化する状況に対し適切な対応に努める。

　就労継続支援Ｂ型事業所「にじいろの樹」の利用者増に対応できるよう職員の人数も増やし積極的に資質向上を図る研修に参加し充分な体制でサービスを提供する。

　グループホームの潜在的なニーズに応えるべく、引き続き建物の確保と世話人の人材確保に努める事とともに日中活動サービスとの連携を取り、生活全体から見た自立支援サービスの質の追求に努める。

　尾之間診療所杉下先生の※スマートウエルネス屋久島事業計画に参画して新しい地域保健福祉のあり方を模索する。

一人一人の多様な個性に寄り添い共に豊かな生活が出来る事を目指して行く。

　引き続き共生型サービスの準備を進め高齢者の方も利用出来るよう、より地域の状況に応じた、多様で一体的な事業内容の運営を模索し務める。

１、新型コロナウイルス感染対策に努める

２、関係する機関や団体等との連携を深める

３、自社工場での作業を充実させる

４、積極的に研修に参加し学習し経験を重ねる

５、福祉交流の実施

６、通信は年２回発行を目標にする

〔行事〕

５月２９日　　通常総会の代わり書面表決

✩以下状況によって開催されるならば

１０月～　　　種子島運動会参加、ゆっくり館との交流運動会に参加、

　　　　　　　安房小、神山小福祉交流

１２月　　　　餅つき

１月下旬　　　未来館、民生委員との交流

* スマートウエルネス屋久島事業計画

・屋久島南部の地域医療の拡充（在宅診療とリハビリ機能の強化）

・屋久島南部の福祉事業の拡充（高齢者支援・障がい者支援・子育て支援）

・世界遺産屋久島の魅力を伝えるウエルネスツーリズムの推進

・大学間連携を応用したウエルネス（健康のあり方）研究の推進

・屋久島の魅力を世界に発信するグローバルラーニングセンターの設立